

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	町田市立小川小学校			代表者名	星 彰
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	小学校	連絡先電話番号	042-795-0002
担当者役職	副校長	担当者氏名	大谷 千尋	連絡先E-mail	
住所	194-0003 東京都町田市小川3-10-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	テキストプログラミング推進のための指導力向上
概要	児童の自己調整力を高めるため、テキストプログラミングの指導力向上にも力を入れている。ICT活用に関する助言・支援をいただき、ICT活用の中核を担える教員の育成を目的とする。		
支援を求める分野	人材（外部人材活用） 計画策定支援 教育情報化／情報教育		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年7月1日	支援・助言&フォローアップ(実地)	13時00分	17時00分	
				活動時間（分）	240
2-2. 派遣場所	会場名	町田市立小川小学校		最寄駅	成瀬駅
	所在地	町田市小川3-10-1		最寄駅からの交通手段	徒歩またはバス（小川小学校前）

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	松田 孝
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	第3回指導では、これまでに指導を踏まえ、3年生の授業時に、TTのような形でサポートに入っていた。それにより、低学年の指導を生かして、3年生の児童に対しても担任が適切な指導を行うことができた。指導者のサポートを受けることで、児童たちの反応や理解度をその場で確認しながら進めることができた。特に、児童たちが難しさを感じている部分に対して、タイムリーに声掛けやアドバイスをを行うことができ、児童の不安を解消しながら理解を深めることができた。また、授業後は、今後の授業運営におけるポイントや、児童の個別の学びをより丁寧にサポートする方法についても学びを得ることができた。これにより、授業の質が一層向上し、児童が学びを進められる環境を整えることができたと実感している。
アドバイザーへの要望事項	今後も機会があれば、継続的な指導・助言をいただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	30人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	30		その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	今回は本校としても初めてプログラミングに力を入れたということもあり、全教員が0からのスタートだった。3回までに低学年・中学年向けの指導方法を具体的に学ぶことができたので、継続的な指導をしていただけるのであれば、高学年向けの指導も視野に入れて学びたい。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	派遣講師から得た実践的な指導法を校内で共有し、教員間での学び合いを推進する。また、単なる知識や操作の習得ではなく、「なぜそのプログラムが必要なのか」「どう改善すればよいか」といった思考を促す問いを授業に取り入れ、児童の主体的な学びを促す授業の工夫をする。最終的には低学年から高学年にかけて、系統立てたプログラミング教育の流れを構築したい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・教員向けにテキストプログラミングの基本的な指導方法に関する研修の実施 ・授業を行って感じた低・中学年児童のつまずきやすいポイントや、それに対応する声かけ・課題設定の工夫	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・教員の指導に対する不安や戸惑いが軽減され、授業に自信をもって臨むことができるようになった。 ・テキストプログラミングの指導を、スムーズに、より発展的に展開することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	②事業に係るシステムを構築できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	・限られた時間の中であり、まだまだお聞きしたいことがあり、教員の学びたいという欲求が高まっているので、機会があれば、今後も何らかの形で学ばせていただきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E L や P D F での分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
4－4. 事業の最終的な目指す姿	教員が1年間で児童にどのような力を身に付けさせたいか、身に付けられるかを検討し、本校としてのテキストプログラミングの年間指導計画を完成させ、本校の中心的なカリキュラムの一つとする。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

